

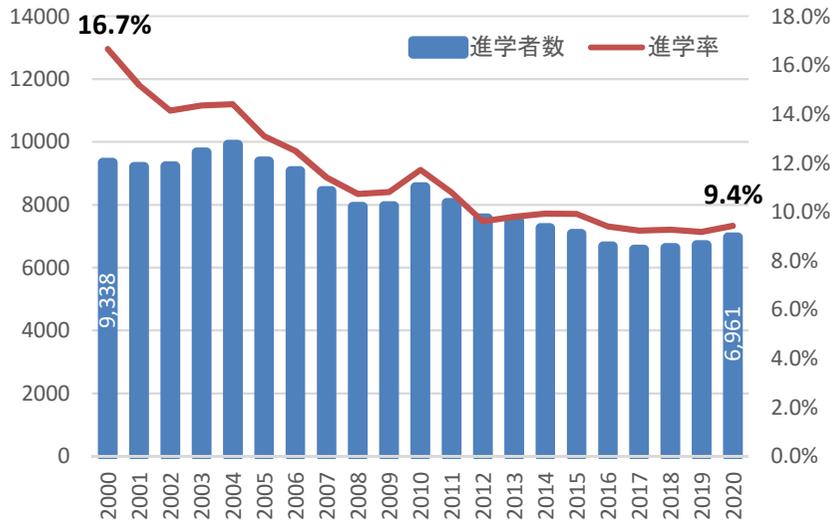
# 博士後期課程への進学に関する現状と対応

総合科学技術・イノベーション会議世界と伍する研究大学専門調査会（第1回）資料9  
令和3年3月24日

資料3  
科学技術・学術審議会人材委員会（第91回）  
令和3年4月28日

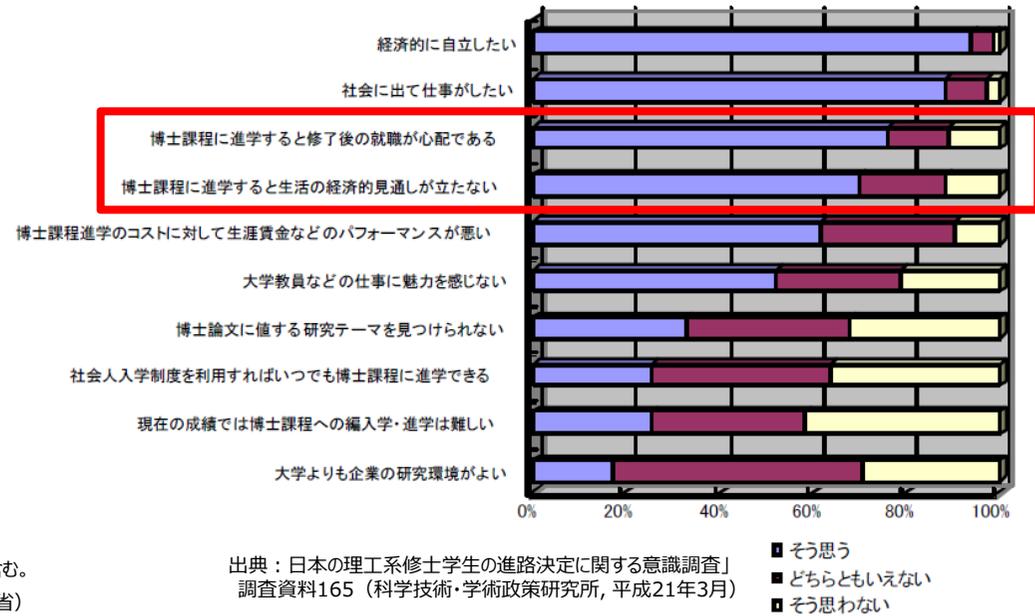
## 1. 現状・課題

修士課程修了者の進学者数・進学率の推移



※本データは、博士後期課程以外（他大学の修士課程等）への進学者も含む。  
出典：学校基本調査（文部科学省）

博士課程進学ではなく就職を選んだ理由



## 2. 関連の政府方針等

研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ（抄）  
（令和2年1月23日 総合科学技術・イノベーション会議決定）

博士後期課程学生の処遇の向上

### 【達成目標】

○多様な財源を活用し、将来的に希望する博士後期課程学生が生活費相当額程度を受給できるよう、当面、修士課程からの進学者数の約5割※に相当する学生が受給できることを目指す。（早期達成）

※ 全博士後期課程学生（74,367人,2018）の10.4%が受給（2015）。修士課程からの進学者数（約30,000人,2018）の約5割が受給できる場合、全博士後期課程学生の2割程度に相当。

諮問第21号「科学技術基本計画について」に対する答申（抄）  
（令和3年3月16日総合科学技術・イノベーション会議決定）

2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化  
（1）多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築

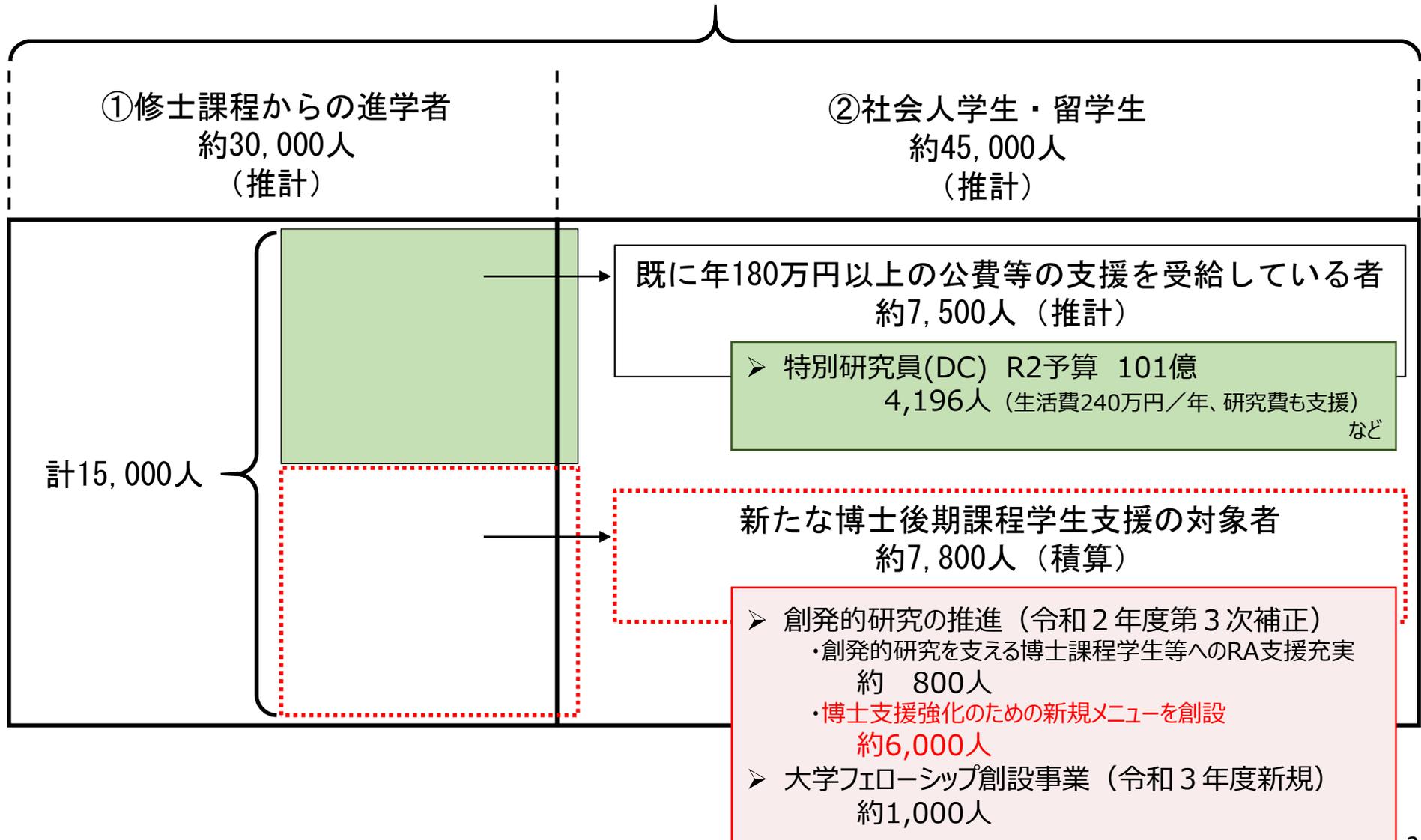
【科学技術・イノベーション政策において目指す主要な数値目標】  
（主要指標）

・生活費相当額程度を受給する博士後期課程学生：優秀な博士後期課程学生の処遇向上に向けて、2025年度までに、生活費相当額を受給する博士後期課程学生を従来の3倍に増加（修士課程からの進学者数の約7割に相当）。また、将来的に、希望する優秀な博士後期課程学生全てが生活費相当額を受給。

# 我が国の博士後期課程学生支援の概略

博士後期課程在学者数：75,345人（令和2年度）

（出典：令和2年度学校基本調査）



### ◆ 博士後期課程学生の不安・困窮状況の打開

我が国の科学技術・イノベーション創出を担う、若く志ある優秀な学生が、経済的な不安を理由に博士後期課程への進学を諦めたり、研究室の雑用や研究補助に追われて自身の研究に専念できないといった状況を打開するため、国費による大規模な博士後期課程学生支援を実施する。

### ◆ 若手研究者への適正処遇とキャリアパス確保

優秀な学生に適正なコストをかけて若手研究者としての徹底した鍛錬を行い、アカデミアや産業界などにわたる幅広い博士号取得者のキャリアパスを整備する（そのような大学に優秀な博士後期課程学生が集まる）中で、各大学は自らの研究上のエッジや可能性を活かしてどのように社会構造の進化をリードしようとしているかのビジョンを明確化する必要がある、この新たな博士後期課程学生支援の実施により、その流れを加速させる。

### ◆ 若手研究者の育成・獲得を競う環境へ

大学が今後の社会構造の進化をリードするためには、これまでの分野縦割りの構造から、高い研究力の水準を活かして新たな分野などに挑戦する仕組みへ、ガバナンスを転換することが不可欠。この新たな博士後期課程学生支援が、若手研究者の育成・獲得に向けた大学間の競争（ポータビリティの確保を含む。）を促し、RA経費の確実な支払いなどと相俟って、大学のリソースの再配分による教育研究組織の柔軟化・流動化・融合化に資するようになることが必要。

## 2. 概要

事業名称	創発的研究若手挑戦事業（仮称）
対象学年、人数	博士後期課程学生 1～3 年生（4 年制の場合は 4 年生を含む。）
1 人あたり支援額	生活費相当額＋研究費（検討中）
1 人あたり支援期間	最大 3 年間（4 年制は 4 年間）

## 3. 採択基準の考え方【 P 】

各大学から申請された事業計画のうち、下記の条件を満たすものを採択し、各大学を通じて各大学に所属する博士後期課程学生への支援を実施する。

- ① 充実した大学院環境で、博士後期課程学生が自由に挑戦的・融合的な研究に専念できる環境が確保されていること。
- ② 当該博士後期課程学生について、課程修了後のキャリアパスの支援・確保に向けた取組を行っていること。
- ③ 大学として、戦略的に注力する分野の明確化と、社会ニーズを考慮した博士人材の育成を実現するため、必要となる大学自身の取組（定員・予算の重点化等）を行うこと。

**（注）大学の既存の部局組織への硬直的な配分となることのないよう、引き続き、具体的な制度設計の検討を行う。**